

あゆみ

『 理念の継承 』

理事長 森 公夫

今年も、利用者や保護者のみなさま、ご支援いただいたたくさんの方々、そして職員の日々の努力に支えられ、無事に事業が継続できたことを感



謝いたします。これからも必要として下さる方のため、お役に立てるよう努力したいと思えます。ところで、ある新聞で何度か取り上げられましたように、今、社会福祉法人はそのありようを問われるとともに、制度的にも大きな変革の時代を迎えています。これまで独占であった福祉事業の多くが、規制緩和や民力の活用という観点から企業法人でも参加可能になり、今まであまり意識のなかった「競争」ということを考えなければならなくなりました。

たとえるなら、二百数十年ほとんど変化の無かった徳川の世の中が、黒船の到来によって一気に変革へと動き出した時のようでもあります。そして何よりも大きな問題は、私たち社会福祉法人を運営するものの感覚が、まだまだその変化を咀嚼出来ていないということです。その点では、近年に事業を開始したところのほうは、はるかに事業意識は高いのだろつと思えます。

先日、東雲短期大学の創立五十周年の祝会に呼んでいただきました。東雲短期大学の歴史を遡ると、その源流は明治時代の松山女学校に辿りつきます。現在の短大の基礎は、一九五七年の松山東雲栄養学院にあり、その後、学部の変更や増設により現在の形になりました。少子化の進行は私学

にとって大きな試練で、この大学・短大でも教室やロビーに、学生であふれかえっていたかつての面影はありません。どんな事業でも起業時にはとても大きなエネルギーが必要ですが、実は、それを継承していくことの方が、地味でありながらはるかに難しいことなのです。

当日は、短大の元宗教主事、現在は桜美林大学の学長をされている三谷高康牧師による記念礼拝がまもられました。その中で「学生は教師によって育てられ、教師もまた学生によって育てられている」ということを話されました。また、「いつの時代でも、建学の精神を見失ってはならない」とも話されました。

前述のように、好むと好まざるとにかかわらず社会福祉法人も、時代のうねりの中にあります。そのなかには、不本意な部分もあるかも知れませんが、しかし、水がどのような器に注がれても順応し、かつその性質を失うことがないように、私たちもまたどんな時代にも、「愛の精神」に根ざした法人の理念に従って歩む者でありたいと思えます。そして同時に、この法人が、支えられる人支える人、またそれぞれの出会いを通して、ともに人生の大切なことを学び、お互いが育ちあう場でありたいと願っています。

(写真は1960年代)

社会福祉法人あゆみ学園

理念

当法人は、障がいのある子どもとその保護者を支援するため、日本基督（キリスト）教団松山教会の青年によって始められた事業をその礎（いしずえ）とし、キリスト教の愛の精神に基づいた社会福祉事業を行い地域社会に貢献します。

『それぞれの成長』

副理事長 山崎 順子

理事会などは別に、月に一度はあゆみ学園に出かけ、多機能事業所で一緒に作業をさせてもらっています。最近は顔なじみになって、みんなにこここしながら挨拶をしてくれます。箱折や製品の袋詰めなど、利用者のみなさんといっしょに作業をしますが、黙々と作業に取り組む人、いつも笑顔の人、自分のことを聞いて欲しい人、自分の世界に浸っている



人、いろいろです。

その様子を見てみると、それぞれが楽しく規律のある毎日を過ごしているようで心がなごみます。それとともに、ここに至るまでの、ご家族の方々、あゆみ職員のご苦勞をも思います。そうした、まわりの人たちの愛情や慈しみの心があるからこそ、お互いが成長を確かめ合いながら、この事業が続けてこられたのだと思います。

社会はめまぐるしく変化していますが、いつまでも「あゆみ」が、集う人々にとつての安心できる場所であり続けられるよう、お祈りすることともに、精一杯の応援をしたいと思います。

『日々是好日』

あゆみ学園

管理者 武智 一郎

小春日和の明るい園庭を、今日も子どもたちが走り回っています。砂遊びに余念のない子、遊具で一生懸命遊んでいる子もいます。この世に生を受けてわずか数年の子どもたちですが、生命力に満ちて輝いて見えます。じっと見ていると、世の中の雑事や細々した心配事がつまらなく思えてきます。



そう、私がここにいるのは、この子たちが明るく輝き、すくすくと成長していくのを見守るためだったはず。だとすれば毎日忙しく走り回り、何かあると「やれやれ」とため息をついている私はいったい何なのでしょう。この子らと一緒に太陽の光を浴びていねばいいのに。

こんな調子で子どもから無言の忠告と励ましを受け、心に充電してもらい、「さて、頑張らなければね。」と腰を上げる。考えてみると、あゆみでの日々は何物にも代えがたい、素晴らしい毎日だとつくづく思います。

『 充実した支援を目指して 』
多機能型事業所あゆみ

管理者 真鍋 孝夫

早いもので、「多機能型事業所あゆみ」を開設し、三年目を迎えています。「生活介護事業」と「就労継続支援B型事業」双方の支援内容も更に充実し、利用者は支援員との信頼関係の中で生き生きと活動されておられます。

「生活介護事業」においては、衣食住に関する支援は勿論、音楽や絵画、調理等の創作活動及び生産活動の機会を提供し、個々が希望する支援内容を展開して、楽しい雰囲気の中でご利用いただいております。今年は、新しく「生け花」にも挑戦してみました。

「就労継続支援B型事業」では、農作業やシャム等の製造販売や軽作業及び清掃活動等の拡大に努めて支援内容を更に充実させ、就労を目指す支援に努めました。今年は施設の近くに約四百坪の農地をお借りして季節折々の野菜作りに挑戦し工賃向上に努めました。

今後、関係者が満足し、喜ばれる事業所であるよう支援に邁進して参りたいと考えています。



『 備えあれば・・・ 』

多機能型事業所あゆみ

管理者補佐 渡部 剛

を書き変えたいくなるほど、大災害が絶え間なく発生する日本列島。

そこに世界一の平和な長寿社会を築き上げた日本人は大したものだと思う。と言つと、何を呑気なことを、これから人口は減るし、税金は上がるし、不景気続きなのにといい声が返ってきてきそうである。

でも、だから、めげることなく、持続可能な福祉をしっかりと確立しなくては行けない。

東南海地震などの災害に備える防災体制もその一つ。今、その計画作成が求められています。どんな災害がやって来ても対処できる体制をと欲張って、県の指針を参考にあれもこれもと盛り込んでいくと膨大な計画になってしまうので、これでは誰も読んでくれないかも?・・・と思索中です。

要は、日頃の準備、心の備えを怠らないことが大事だと思います。



大震災や局地豪雨による土石流に加えて火山爆発—災害は忘れる間もなくやってくる—と標語

『じじばばってなめじじ』

児童発達支援センター
児童発達支援管理責任者 中本 奈津子

「じじばばがでてほしいなあ」「会話がしたいなあ」「話こつくわゆるじじ分かるの…」
初回の面接でそんな保護者の方の願いを伺うことが多かったです。

『はじめまして』の子どもさんとの関係作り、初めての場所で初めての人に何をされるのか不安でたまらない子どもさんも多いのです。そんな



時、必ず私がするのは子どもさんの真似っこです。そして子どもさんがしていることをじじばばじじたり、気持ちをこぼしたり。『オッ、こいつ面白い』『なんか大丈夫そう』『楽しそう』と思ってもらえると、チリチリ見るのが増えてきます。そして安心感につながり自分からコミュニケーションをとるようになってきます。

じじばばって、そんなんです。『じじばば』と一言で言っても本当に奥が深いのです。じじばばの発達には順番があり、口からじじばばが出るまでは、最初に物の名前や概念を理解し、“分かる言葉”と“分かる事柄”をためること。そして相手に伝えたいという意欲が並行して発達する必要があるそうです。その後身体の発達に伴って指をさすしぐさが現れ、最後にのどや舌、唇の複雑な動きや調整を要する「話す言葉」が育ちます。

“話す言葉”だけが「じじばば」ではなく、子どもからのしぐさや視線等には気持ちがたくさん込められていますね。目を合わせて気持ちを共有することで、気持ちや概念や意味を理解していくことができます。

最近スマホやタブレット等のー化が進み、コミュニケーションをしっかりと取れない社会に



なっているように感じます。身近に便利な楽しいものがあり、大人が夢中になることで子どもからのサインが見落とされてませんか？ “ちょっと待って” “後で” “の約束は守ってあげてますか”

活かすことばを身につけていくためにも、ことばをかけながら気持ちを一緒に共有できるとよいですね。また、お互いがかけひきをする中で、相手の気持ちを感じたり、相手の意図が分かったりします。しかしなんとと言っても、まずはことばの基礎づくり。身体を使った遊びやスキンシップを親子で楽しみ、『楽しい』と思うことが心も脳も育ててくれるのではないのでしょうか。
ことばのバケツは一人ひとりの大きさが違います。バケツにたくさんのお水を注ぎ入れるとあふれるように、私たち大人がことばの感度を上げていけるといいな、と思い日々の保育の中で子どもたちとかわりたいと思います。

『それぞれのペース』

児童発達支援事業どんぐり

児童指導員 矢野 志穂



長や吸収の早さに驚いています。毎日遊んだり、集まりやラジオ体操をしています。そのラジオ体操の中で先日す

ごく嬉しいことがありました。今まで体操中、座って見学していたお子さんが立って最後まで体操をしてくれました。今までの積み重ねかもしれませんが、本人がやる気になったこと、その日の人数が少なかったこと…等もしかしたら色々な要因が重なったのかもしれない。ですが、できたということは力を持っているということ。関わりや環境を見直すだけでも子供の力を引き出せるのだということを感じました。お子さんによって始めから参加する子もいれば、見て学習し、覚えてから参加する子、みんなの前では恥ずかしいけど少人数や一人ならできる子などそれぞれペースがあります。できないということを決めつける前に、何故できないのか？どうしたらやってみようと思うのか？…等疑問を持って見てみると新たな発見ができると思います。

どんぐりという場所がお子さんや保護者の方々にとって楽しい場所、安心できる場所、自信をつけられる場所等になれるように、これからもたくさん遊び、いろいろな経験を積んで傍で成長を見守ってまいります。

『こんにちは、あゆみ学園指定相談支援事業所です』

あゆみ学園指定相談支援事業所

相談支援専門員 川本 愛



パソコンにとらめっこしている日々にも、少しずつ慣れてきたよう…。一日一回は必ず「げんきですか？」と各部屋を回り、子ども達の現状を観察！（いや、癒されに行っているのかも？）…させてもらっています。ちょっと離れた場所から子ども達を観察しているところ、こんなことが自分一人ではできないんだ。ここ、先生がちょっとお手伝いしてあげたら成功しそうだな。なんて、今までは見えてこなかった姿を発見。手を出したくなる気持ちを抑え、見守ってみることも大事なんだな。と思うてみたり、的確な支援って？、改めて考えさせられたりしております。お母様方にも、園での様子をモニタリングの際にご報告さ



せていただきますね！

さて、当事業所では、福祉サービス利用に関する計画作成や情報提供、各関係機関の連絡調整を行っています。

ます（まだまだ、知らないことばかりで…日々勉強ではありますが）。小さなことでも疑問に感じたら、いつでもご相談ください。

子どもたちの笑顔が、家庭やあゆみ学園内にとどまることのないよう、地域の中でも、伸び伸びと暮らしていけるよう…橋渡しをしていければなと思っています。これからもよろしくお願いたします。

送迎車両整備

この度、「公益財団法人日母おぎゃー献金」様より園児用車両「ハイエース」が寄贈されました。七月一日から子供たちの送迎車両



として使用させて頂いています。頂いた車両は大切に使用させて頂きます。本当にありがとうございました。

避難階段設置

長年懸案事項でありました避難用階段が、この度完成いたしましたのでご報告申し上げます。

この避難階段は、津波発生を想定して設置したもので、当

法人を利用される子供さんや利用者の方、また職員の避難場所として屋上に避難する際に活用いたします。



プール室改修報告

今年度、愛媛県から補助金をいただきプール室の改修工事を行っています。この部屋は多目的室として生まれ変わる予定となっております。完成を楽しみにお待ちしております。



『 幸せを感じる時 』
多機能型事業所あゆみ 生活介護事業

生活支援員 酒井 嘉恵

「利用者さんが喜びを感じ、充実した日々を過ごすために。」

これを課題に、生活介護の支援員としてはや三年経とうとしています。

利用者さんの生活自立を促す基本的な支援に併せて、保護者様のニーズでもあった作業や楽しみにしている余暇活動を取り入れながら充実した時間を過ごしてみると、あっという間に一日が過ぎてしまいます。

サービスが硬直化しやすい現場において、活動等を常に工夫し、新たなものを創造していく能力が私達支援員には求められています。

作業の効率を下げずに余暇活動の充実を図ることはとても大変で頭を抱えることが多いです。しかし、作業においても利用者さんは簡単な技術を習得します。また、工賃はご自身の大事な小遣いとなり、外出時の買い物に使ったり、散歩時のシューズ代となることで作業に対するやりがいが出てきます。

また、所内の余暇活動においては、農作業班が

育て収穫した野菜や果物を使った調理活動を行うことで、調理器具の扱いやおやつ作り方を覚えさせます。

更に、華道の昆奈師範にもお越し頂き、生け花を体験することで難しいと感じたことが自分でもできると確信し、創造力を高めると共に、自信にも繋がりました。

どんなに大変でも利用者さんと諦めずに頑張ること。そして、それが利用者さんのためになる



と信じたら、決して手を緩めてはいけないこと。ただ、その大変さが後になって利用者さんからかえってくることを幸せと感じる毎日です。

『旅立ちに拍手』

多機能型事業所あゆみ 就労継続支援B型事業

職業指導員

永井 壮



らしいので他に出来そうな仕事を検討していきますよ。」という一方的な考えを押しつけてしまっていました。しかし、それから二年後、転職が訪れました。



今年度、B型から一人の利用者様が退所されました。退所理由は、自分の『夢』を叶える為でした。その方の『夢』とは、“将来パソコン関係の仕事に就き、自分でゲーム作りたい。”というものでした。

初めてその話を聞かせて頂いたのは約二年半前、当事業所が新体系に移行し、生活介護と就労継続支援B型に分かれてから初めての三者面談の時でした。しかし、当時その話を聞いた私とその方の保護者は「パソコン関係の仕事なんて難しい。でも、就労したい」という気持ちは素晴らしいのでした。初めてその話を聞かせて頂いたのは約二年半前、当事業所が新体系に移行し、生活介護と就労継続支援B型に分かれてから初めての三者面談の時でした。しかし、当時その話を聞いた私とその方の保護者は「パソコン関係の仕事なんて難しい。でも、就労したい」という気持ちは素晴らしいのでした。

本格的に就労を考え始め、管理者や相談支援専門員、当事業所の支援員など様々な方に「ご意見を頂きその結果、愛媛県高等技術専門校に入校し、そこから就労を目指す」という道筋が立ちました。早速、オープンキャンパスに参加し、野菜の袋入れなど体験しました。しかし、しつくりとできなかったのか浮かない表情をされていました。帰り際、「パソコンの体験にも一応参加してみよう。」とタイピング作業の体験に参加しました。すると、私が思っていた以上にスムーズに文字を打ち込んでいき、何よりその時の表情がとても生き生きとされていたのです。それを機に、一気に方向転

換をし、一丁関係の仕事に携わっている事業所に
見学に行き転所する意思を固められました。

この結果に辿り着くことができたのは、ずっと
心に夢を持ち続けた本人の『強い思い』が全ての
出来事を引き寄せたのだと感じました。いつかそ
の方の作ったゲームをPLAYできる日を、楽し
みに待っています。

父母の会 役員紹介



二宮 美香

本年度の会長を務めさせて頂いています。初め
の役員ということでも不安もありますが、役員の方
々に助けてもらいながら皆様と一緒に頑張っ
ていきたいと思います。

北島 ゆかり

保護者の皆様をはじめ、園の方々や子供さん達
が、笑顔で過ごせるお手伝いが少しでも出来たら
良いなと思いい役員活動しております。よろしくお
願いします。

稲田 由美

役員会であゆみに行くたびに子供達の笑顔に癒
されました。役員の任期もあと数カ月ですが、頑
張りますので、よろしくお願いたします。

増田 晃代
今年度、会計をさせて頂いております。少しでも
園行事のお手伝いができるよう、邁進して参りま
す。

一色 エリ

今年度書記をさせて頂いております。皆様の
ご協力をいただきながら、少しでもお役に立てる
よう頑張りたいと思っています。よろしくお願
いします。

家族会 役員紹介



森田 静香

子供たちの将来を見据えて、今、何をすべきか
考えながら活動していきたいと思っています。
御協力よろしくお願いたします。

池内 鈴

昨年同様、皆様のご協力を頂きながら家族会の
一員として活動したいと思っております。よろしくお願
い致します。

首藤 ゆか

昨年に続いて役員をさせて頂いております。少し
でもお役に立てるよう、楽しく頑張りたいと思
います。よろしくお願いたします。

網江 美津子

あゆみにお世話になって二年度目の役員をさせ

ていただきます。皆様と1つ1つに頑張ってい
たいと思っております。よろしくお願致します。

野村 りえ

今年一年、皆様のお役に立てるよう、又、保護
者会の活動の輪が広がる事を願って、微力ながら
頑張りたいと思います。

近藤 恵子

あゆみにお世話になって、再び役員をさせて
いただきます。よろしくお願致します。

坂口 禎子

二年度目の役員、今年度は書記をさせて頂
いてます。開所以来母娘でお世話になり、少し
でも役に立てればと思っていますのでよろしく
お願致します。

お知らせ

平成二十五年度の苦情受付に関して
受付件数0件。処理件数0件でした。

発行
〒790-0047 松山市余戸南6丁目6番9号
社会福祉法人あゆみ学園
ayumi-g@bz01.plala.or.jp
Tel 089-972-0999 Fax 089-972-3511

児童発達支援センター あゆみ学園
児童発達支援事業どんぐり
相談支援事業所くじら
Tel・Fax・mail とも法人に同じ

〒790-0047 松山市余戸南6丁目3番26号
多機能型事業所あゆみ
生活介護事業所あゆみ
就労継続支援B型事業所あゆみ
あゆみ学園指定相談支援事業所
ayumi-s@ksn.biglobe.ne.jp
Tel 089-974-5141 Fax 089-907-6100